

アジアの投資家向けの 2023 年市場レビュー



Sue Lee

ディレクター兼指数投資戦略のアジア太平洋のヘッド
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス

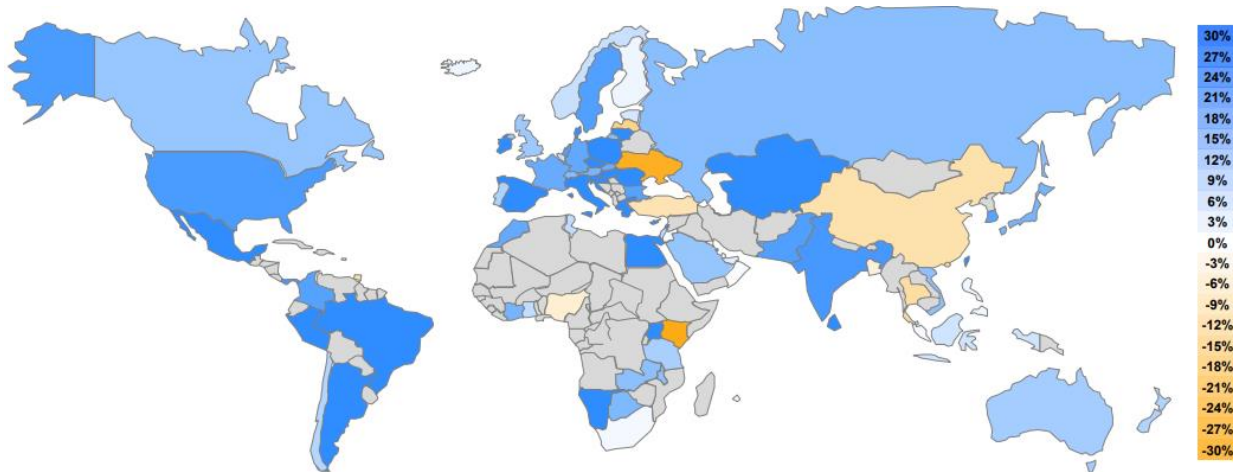
この資料は、2024 年 1 月 22 日に弊社ブログ Indexology®に掲載された文書の翻訳版です。英語版と日本語版の間に内容の相違がある場合は英語版をご参照下さい。

英語版：<https://www.indexologyblog.com/2024/01/22/2023-market-review-for-asian-investors/>

アジアの投資家は、米国株式をポートフォリオに組み入れ、ホームカントリー・バイアス（投資家が国内資産に偏重した資産配分を行うこと）を排除することにより、ポートフォリオの分散効果を高められる可能性があります。S&P グローバル総合指数（BMI）によると、米国株式は世界の株式市場の 60%近くを占めており、アジア以外では米国株式が大きな投資機会を提供しています。また、アジアと米国では、経済構造や景気サイクル、セクター・エクスポージャーなどが異なるため、このこともポートフォリオの分散効果を高める役割を果たします。**S&P 500®**は、米国大型株の動向を表す最良の単一尺度として広く認められている株価指数であり、S&P 500 に連動する資産は推定 5 兆 7,000 億ドル¹に上ります。さらに、S&P 500 は指数先物やオプションを含む巨大な取引エコシステムを支えています。市場参加者は、S&P 500 に連動する金融商品を活用し、米国株式を効率的に取引することができます。

アジアの投資家が 2023 年に米国株式をポートフォリオに組み入れていれば、大きな恩恵を受けることができました。中国で景気回復が予想より遅れ、不動産市場の低迷が長引き、米中間の緊張により市場心理が冷え込む中で、中国と香港の株式市場は相対的にアンダーパフォームし、S&P 中国総合指数と S&P 香港総合指数はそれぞれ 10% 及び 15% 下落しました（図表 1 参照）。一方、世界のその他の国々では、堅調な景気動向を背景に株式市場が大きく上昇しました。インフレ率の鈍化や利下げ観測の高まりを受け、世界の株式市場は 10~12 月期に急騰し、S&P グローバル総合指数は 2023 年に 22% のトータル・リターン（米ドル建て）を生み出しました。米国株式市場が特に堅調なパフォーマンスとなり、S&P 500 は 2023 年に 26% のトータル・リターンを生み出し、2022 年の損失（22% のマイナス）を取り戻しました。

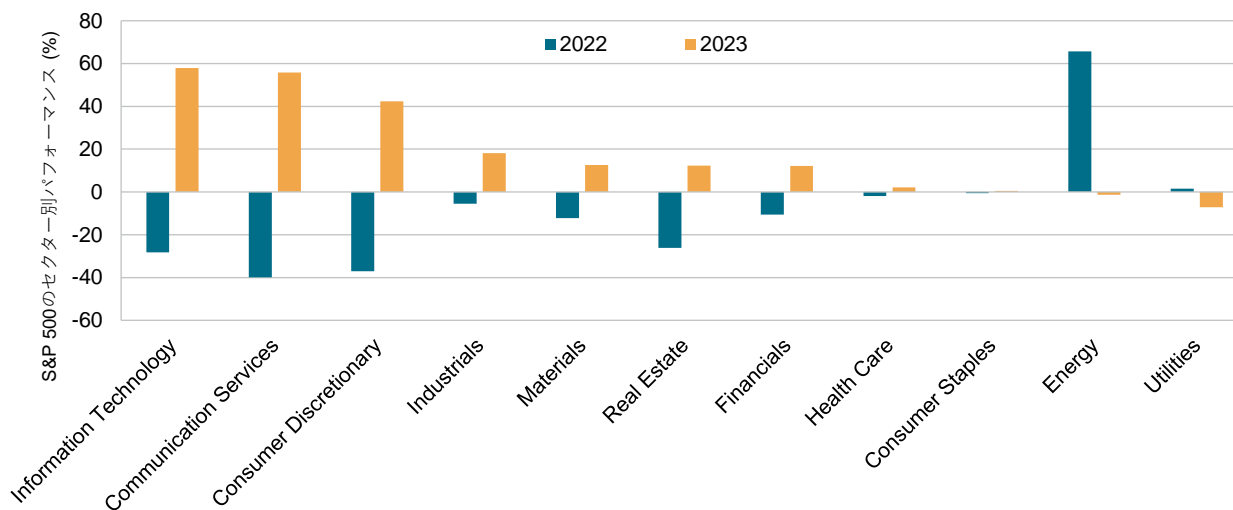
図表 1：S&P グローバル総合指数の国別パフォーマンス（2023 年）



出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。2023 年 12 月 29 日現在のデータ。指数のパフォーマンスは米ドル建てのトータル・リターンに基づいています。図表は説明目的のために提示されています。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

セクター・レベルでも、2023 年には株価が大きく反発しました。情報技術セクターが最もパフォーマンスの高いセクターとなり、2023 年に 58%上昇しました（2022 年には 28%下落）。同セクターは S&P 500 の 2023 年のリターンに 50%以上貢献しました。コミュニケーション・サービス・セクターと一般消費財・サービス・セクターも堅調なパフォーマンスとなり、それぞれ 56%及び 42%上昇しました（2022 年にはそれぞれ 40%及び 37%下落）。公益事業セクターとエネルギー・セクターだけが 2023 年にマイナスのリターンとなりました（2022 年にはそれぞれプラスのリターン）（図表 2 参照）。

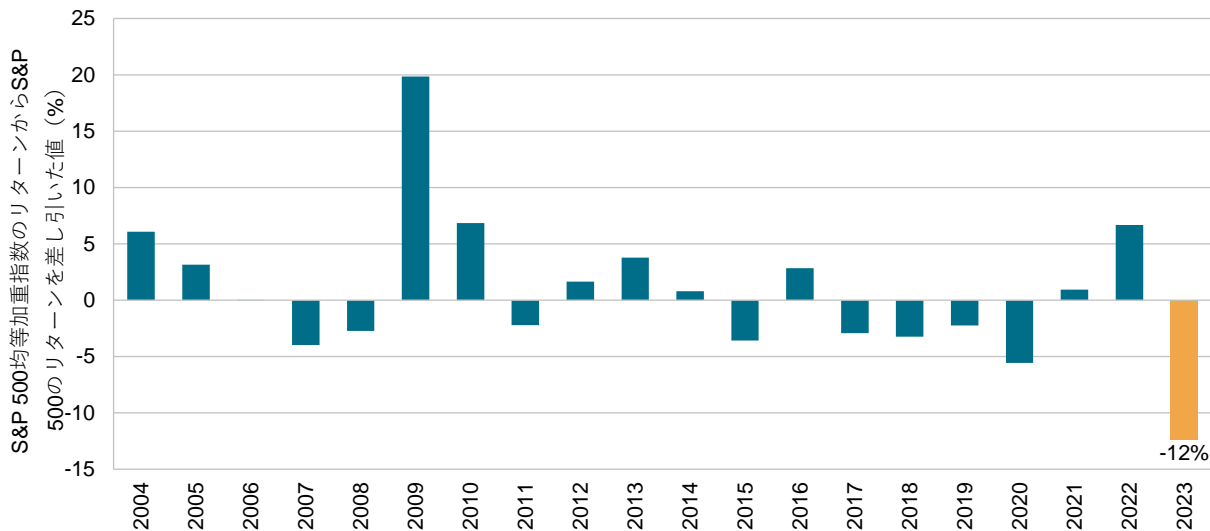
図表 2：S&P 500 のセクター別パフォーマンス（2022 年と 2023 年の比較）



出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。2023 年 12 月 29 日現在のデータ。指数のパフォーマンスは米ドル建てのトータル・リターンに基づいています。図表は説明目的のために提示されています。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

銘柄レベルでは、[2023年にはごく一部の銘柄が市場全体のリターンに大きく貢献しました](#)。いわゆる「マグニフィセント・セブン」と呼ばれる超大型7銘柄（Apple、Amazon、Alphabet、Meta、Microsoft、Nvidia、及びTesla）が2023年に平均112%上昇し、S&P 500のリターンに58%貢献しました。その中でもNvidiaは239%上昇して最高のパフォーマンスとなり、S&P 500の中で4番目に時価総額の大きい銘柄となりました（2023年初めの時点では10番目であった）。これらの超大型株が上昇したため、S&P 500均等加重指数²はS&P 500を12%アンダーパフォームし、この均等加重指数が2003年に算出を開始してから最も大幅なアンダーパフォーマンスとなりました（図表3参照）。2024年1月19日時点の年初来で、マグニフィセント・セブンが4%上昇しているのに対して、S&P 500は1%の上昇にとどまっており、2024年に入ってもこれらの超大型株は相対的に堅調なパフォーマンスを示しています。

図表3：S&P 500均等加重指数のS&P 500に対する相対パフォーマンス（年率）



出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。2003年12月31日から2023年12月29日までのデータ。指数のパフォーマンスは米ドル建てのトータル・リターンに基づいています。図表は説明目的のために提示されています。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

¹ 2022年12月31日現在のデータ。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの[指数連動資産の年間サーベイ](#)に基づいています。

² S&P 500均等加重指数（EWI）はS&P 500の構成銘柄を均等加重した指数です。この指数は、時価総額加重指数であるS&P 500と同じ銘柄で構成されていますが、S&P 500均等加重指数の各構成銘柄には、四半期ごとのリバランス時点で固定ウェイト（指数全体の0.2%）が割り当てられます。この指数の詳細については[ここ](#)をご覧ください。

このブログの記事は意見であり、助言ではありません。[免責条項](#)をお読み下さい。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス免責事項

© S&P グローバルの一部門である S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC 2023 年。不許複製。Standard & Poor's、S&P、は、S & P グローバルの一部門であるスタンダード・アンド・プアーズ・ファイナンシャル・サービシズ LLC（以下「S&P」）の登録商標です。「ダウ・ジョーンズ」は、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズ LLC（以下「ダウ・ジョーンズ」）の登録商標です。商標は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC にライセンス供与されています。本資料の全体または一部の再配布、複製、そして（または）複写を書面による承諾なしに行うことを禁じます。本資料は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、ダウ・ジョーンズ、S&P 或いはそれぞれの関連会社（これらを合わせて「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス」という）が必要なライセンスを持たない地域におけるサービスの提供を行うものではありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC が提供する全ての情報は、個人とは無関係であり、いかなる個人、事業体または集団のニーズに合わせて調整したものではありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、その指数を第三者にライセンス供与することに関連した報酬を受けています。指数の過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表すアセット・クラスへのエクスポージャーは、指数に基づく投資可能商品を通して得られます。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、第三者が提供し、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数のリターンに基づく投資リターンを提供することを目指す投資ファンド、或いはその他のビークルを提供、推奨、販売、宣伝、或いは運用することはありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数に基づく投資商品が指数のパフォーマンスに正確に連動し、プラスの投資リターンを上げることについて保証しません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC は投資顧問会社ではなく、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルに投資する適否に関して表明することはありません。そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルへの投資決定は、本資料で言及されたいかなる部分も信頼して実行されるべきではありません。そうしたファンド或いはその他のビークルに投資しようとする投資家に対して、投資ファンド或いはその他のビークルの発行体またはその代理人が作成する目論見書または類似文書に記載されているように、そうしたファンドへの投資に伴うリスクを注意深く検討した上で投資することを助言します。指数への証券の組入は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスによるその証券の買い、売り、または保有の推奨ではなく、また投資助言でもありません。S&P の米国のベンチマーク指数及びダウ・ジョーンズの米国のベンチマーク指数の終値は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが、指数構成銘柄の各主要取引所が設定する終値に基づいて計算します。終値は S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスがサードパーティ・ベンダーの 1 社から受け取り、別のベンダーから届く価格と比較することにより検証されます。各ベンダーは終値を主要取引所から受け取ります。日中の実時間価格は、2 次検証を経ずに同様に計算されます。

これらの資料は、信頼できると考えられる情報源から一般に公衆が入手できる情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されたものです。本資料に記載されるいかなる内容（指数データ、格付、クレジット関連の分析とデータ、モデル、ソフトウェア、或いはその他のアプリケーションまたはそれからの出力）も他のいかなる部分（以下「内容」という）も、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスによる事前の書面による承認なくして、いかなる形式といかなる手段によっても、改変、リバースエンジニアリング、再製作または配布、或いはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容を、不法な或いは未認可の目的に使用してはいけません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス及びいかなるサードパーティ・データ・プロバイダー及びライセンサー（合わせて「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者」という）も、内容の正確性、完全性、適時性或いは利用可能性を保証しません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる過誤、遺漏についても、原因の如何を問わず、内容を用いて得られた結果について責任を負いません。内容は、「現状」ベースで提供されています。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、特定の目的または利用に対する販売可能性または適合性についてのいかなる保証も、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、或いは内容が何らかのソフトウェアまたはハードウェア構成により動作することの保証も、以上を含みそれに限定されない、あらゆる明示的または暗示的保証も拒否します。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連して発生する、いかなる直接的、間接的、偶発的、典型的、補償的、懲罰的、特殊な或いは結果的な損害、費用、経費、法的費用、或いは損失に対しても（逸失収入または逸失利益、及び機会費用を含みそれに限定されず）、たとえ損害の可能性について事前に通告を受けていようと、責任を負いません。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各事業部の活動の独立性と客観性を維持するために、それぞれの活動を他から隔離しています。その結果、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの一部の事業部は、他の事業部では入手できない情報を保有する可能性があります。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各分析プロセスの中で受け取った非公開情報の機密を守る方針及び手順を確立しています。

さらに、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、広範なサービスを、証券の発行体、投資顧問会社、証券会社、投資銀行、その他の金融機関及び金融仲業者など多くの組織に提供しています。したがって、これらの組織から報酬その他の経済的便益を受ける可能性があります。これらの組織には、証券やサービスを推奨し、格付け評価し、モデルポートフォリオに組入れ、評価するか別の対応を行う組織が含まれます。

最新のブログ 「**Indexology**」 (英語) をご覧になりたい方は、こちらのサイト

www.indexologyblog.com よりご登録いただくと、更新の都度メッセージが届きます。